

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調査

4-I-20

4-I-20

章 節	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	パークアンドライド等多様なアクセス方法の検討
	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	20 アクセスルート・遺跡周辺の交通対策(交通規制等の検討)	事業主体	佐渡西警察署
		関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、県警交通規制課、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡市観光振興課、佐渡市建設課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○アクセスルート及び遺跡周辺の人や車の動線を考慮し、必要により交通規制等を検討実施し、渋滞等を防ぎ住環境を守るとともに、来訪者の安全で円滑な移動の促進を図る。	
	【事業内容】	○アクセスルート及び遺跡周辺の交通状況等の把握、検討。 ○安全と円滑な運行が図られるため交通規制等必要な交通対策を講ずる。	
30 事業計画と実績	【30年度計画】	●佐渡市において、策定されるパークアンドライドのための駐車場整備計画等に基づき、関係機関と連携しながら、アクセスルート等における各種安全対策を推進する。	
	【30年度実績】	●佐渡市(道路管理者)が計画する(又は整備予定の)相川地区における歩行者通行場所と法定外表示(グリーンベルト)設置の協議及び既存横断歩道等交通安全施設の補修を実施した。	
課題・今後の取組	【課題】	■ガイダンス施設(きりりうむ佐渡)開設に伴う来場者の相川地区における動線に応じた交通規制計画検討の必要であり、佐渡市担当部署と引き続き情報交換を行うこととしている。	
	【今後の取組】	■相川地区のアクセスルートに関する情報収集と交通規制の検討を行う。 ■相川地区における既存交通規制標識、道路標示の補修を新年度に予定している。	
事業評価	【事業の達成度】	[a ○ b ・ c]	
	【事業実施の効果】	[a ○ b ・ c]	
	【総合評価】	[A ○ B ・ C]	
		◇各種交通安全対策については、適宜、佐渡市担当部署と情報交換・協議を行っており、計画の遅れが無いことから、いずれも「b」又は「B」評価とした。	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。